

「エネルギーグループ知的財産報告書（2024年）」の概要

【特集】「多様な人材の活躍で未来を創造する」（7～16頁）

「多様な人材の活躍で未来を創造する」と題した特集では、冒頭において、人材活性化部門長のメッセージを掲載し、当社グループの「多様な人材の活躍推進方針」について紹介しています。続いて、知財活動における人材の活躍と育成の状況について、以下の4つの視点で紹介しています。

① 多様な人材による総合力の発揮

最先の研究・開発に取り組む研究担当者、AIを応用した発明創出を積極的に取り組む現業機関の担当者、さらに、これらの活動を伴走支援する知財担当者について、具体的な取り組み内容を社員の声も含めて紹介しています。また、特例子会社の(株)エネルギー・スマイルの活動と商標に込めた思いについても紹介しています。

② 協働による活発な創造活動

玉島発電所の活発で組織的な知財活動について、社員へのインタビュー形式で紹介しています。

③ 創造力豊かな人材の育成

階層別・目的別の知財研修体系と主な研修の内容、知財担当者の育成プログラムについて紹介しています。

④ 発明創出・活用の促進

社員の発明創出活動や発明活用を促進するための知財関連表彰の内容、受賞者のインタビュー、表彰式の様子を紹介しています。

【本編】

1. 研究開発と知財活動（17～22頁）

- 事業戦略、研究・開発戦略、および知財戦略を三位一体で推進するための体制、各組織の役割
- 価値創造ストーリー策定のためのコア価値創造ワーキンググループの活動状況
- 研究・開発事例とグループ一体となった研究・開発活動

2. 電気事業を支える基盤技術と特許との関わり（23～25頁）

- 電気事業を支える基盤技術の特許で担保することの意義、2023年に実施した知財ポートフォリオの再構築

【コラム】株式会社中電工の知財活動の取り組み（26頁）

- 株式会社中電工の知財活動の取り組みと発明事例

3. カーボンニュートラルへの取り組み（27～28頁）

- 中国電力グループカーボンニュートラル戦略基本方針
- 脱炭素化に向けた事例

4. 商標への取り組み (29～30 頁)

- お客さまに安心して当社グループの商品やサービスをお選びいただくための「シンボルマーク」
- シンボルスポーツ (女子卓球部) を通じたお客さまとの接点の構築、エネルギー理解促進のためのWEBメディアに係る商標への取り組み

5. 知財リスクへの対応 (31 頁)

- 社外の協力を得て行う研究・開発の成果を支障なく活用できるよう適切な契約を締結するため契約相談体制

6. 社会貢献への取り組み (32 頁)

- 石炭灰を有効利用した土木材料による環境改善の取り組み、施設見学等地域の人材育成への協力、環境関連技術のグローバルな普及促進のためのデータベースに登録した技術

【活動報告】「Energia IP[※] Activity 2023 -知財活動の概観-

(33～34 頁)

特許の価値の定量的評価、特許出願・登録件数移など、知財活動を通じて創出された知的財産の実績に関する定量的なデータ

※ IP : Intellectual Property (=知的財産)

当社保有特許の価値の定量的評価

○ 電気事業における特許の価値の定量的評価（33 頁）

様々な創意工夫や研究・開発に取り組んだ成果は、主にコスト低減等の経営効率化という形で効果を発揮します。そのため、特許技術が関係している主な効率化施策の累計コスト低減額を算定し、それを基に、特許の価値の定量的評価額を算出しています。

特許出願の効果：特許の価値の定量的評価

評価年数	①施策件数	②特許技術が関係したコスト低減額	③特許の価値の定量的評価額
2022 年度（Ⅰ）	219 件	426 億円	183 億円
2021 年度（Ⅱ）	198 件	363 億円	158 億円
（Ⅰ－Ⅱ）	21 件	63 億円	25 億円
権利消滅	－	－	－
増分	21 件	63 億円	25 億円

● 上表の「③特許の価値の定量的評価額」

「②特許技術が関係したコスト低減額」に特許の寄与度と独占排他性を加味して算定しています。これは、新技術が特許で担保されていることにより当社のみがメリットを享受できている金額効果であり、2022 年度は 183 億円となっています。